

公開番号 又は 特許番号	WO-2012-121189 特許 5128728JP
発明名称	リン光発光材料、リン光発光材料の製造方法、及びリン光発光素子
出願人 又は 権利者	パナソニック電気株式会社、 国立大学法人九州大学、 リンテック株式会社
想定デバイス	深紫外線高効率発光デバイス、アンビエントデバイス、エネルギーハーベスティング
要約	<p>【利用分野】</p> <p>リン光発光材料、リン光発光材料の製造方法、及びリン光発光素子に関する。特に、製膜した場合に、水平配向性等に優れたリン光発光材料、リン光発光材料の製造方法及びリン光発光素子に関するもの。</p> <p>【発明の内容】</p> <p>薄膜を形成した場合の水平配向性等に優れたリン光発光材料、効率的製造方法、及びリン光発光材料を用いた発光素子を提供するもので、下記一般式（１）で表わされる。即ち、直鎖状の共役系構造と、２-フェニルピリジン配位子と、中心金属と、β-ジケトン型配位子と、を分子内に有することを特徴とする。</p> <p>（一般式（１）中、末端置換基R1及びR2は、水素原子、炭素数1～20のアルキル基等であり、a～1及びo～sは、水素原子等であり、中心金属Mは、白金等であり、繰り返し数m及びnは、0～4の整数である。）</p>
図面	<p>【図2】</p> <p>(a)</p> <p>(b)</p> <p>(1)</p>